

I. 次の楽曲はベートーヴェン作曲、弦楽四重奏曲 op. 59 No. 1 第1楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(音程)

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

(転回音程)

2. 次の(a) (b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。

(a) ⑦を下属音とする和声短音階

(b) ②を主音とする長調の導音を第VI音とする長音階

3. 次の(c) (d)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(c) ②を属音とする長音階

(d) ②を導音とする旋律短音階

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。

A

B

C (い) *Allegro assai*

(ろ)

(は) (に) *dolce*

A _____ B _____

C (い) _____ (ろ) _____

(は) _____ (に) _____

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。

(1) 種類 _____ 転回形 _____ (2) 種類 _____ 転回形 _____

(3) 種類 _____ 転回形 _____ (4) 種類 _____ 転回形 _____

(5) 種類 _____ 転回形 _____

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。

a. (1)の和音の第五音を主音とする短調の《 》はへ長調である。

b. (2)をII度の和音とする調の下属調は[]である。

c. (3)を下属和音とする調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を平行調とする調の属調は[]である。

d. 和声短音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。

I { } II { } III { } IV { }
V { } VI { } VII { }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。

<i>Vivace</i>	
<i>piacevole</i>	
<i>meno mosso</i>	
<i>tempo giusto</i>	
<i>rusticana</i>	
<i>giocososo</i>	
<i>ad libitum</i>	

- 意味：
- | | |
|-----------|-------------|
| 1. なめらかに | 8. 活発に速く |
| 2. 自由に | 9. 今までより遅く |
| 3. 上品に | 10. 素朴に |
| 4. 自由な速度で | 11. おどけて |
| 5. 愛らしく | 12. 決然と |
| 6. 悲しげに | 13. 正確な速さで |
| 7. 急速に | 14. 今までより速く |